

剣淵・生命を育てる大地の会 令和2年結成30周年を迎える

安全で安心な農産物を
作り続けて30年

食は生命をつくる源



平成2年（1990年）

剣淵・生命を育てる大地の会結成

平成2年2月絵本の里らしい自

然や人に優しい農業を実践しよ

うと農業者が集まり結成される

剣淵町では、昭和63年から絵本

によるまちづくりが進められまし

た。

この立役者の一人、当時の剣淵西

原学園の横井園長の「農薬を使わな

い作物づくりを教えてください」の言

葉が全ての始まりとなりました。

この一言をきっかけに平成2年、

剣淵・生命を育てる大地の会（以降

「大地の会」）初代会長の池田伊三

男さん（南桜町）をはじめ25戸の農

業者が西原学園に集まりました。

当時、農薬や化学肥料を使った慣

行農法からの脱却は、作物への病害

虫被害や収量などに影響及ぼすと

言われていました。

また、剣淵町では事例がなかった

農産物の自力販売には、多くの不安

がありました。

この自力販売については、横井園

長から「生産物の販売や出荷に係わ

る部分を西原学園が事務局となっ

て担当」と言っていたいただいたことも

あり、生産者が農作業に集中できな

安を跳ね返す励みとなりました。

様々な苦難を乗り越え、1つの共

通した理念を持った農業者が集ま

り大地の会が結成されました。

現在では、仲間同士で情報交換し

試行錯誤を重ね、安全で安心な農作

物の提供をしています。

大地の会会員が共通して掲げ続

ける理念

絵本の里づくりにおいて「絵本は

心を育てる」といった思いがある中、

大地の会では「食は生命なり」とい

った生産者共通の理念をもって農

作物を生産しています。

この「食は生命なり」とは食べる

ことは命の源であり、化学合成物で

汚染されていない安全なものを食

べることは身体の健康づくりに大

きく関係し、「安全な農産物は身体

を育てる」という思いが込められ、

絵本の里らしい自然や人に優しい

農業の実践につながっています。

この理念は当時、食育やオーガニ

ックといった言葉がまだ世の中に

浸透していない時代で、まさに先駆

者でもありません。

現在でも輪作体系を生かした作付けによる土壌改良に取り組み、土作りから健全な農作物を栽培しています。

大地の会の発展

結成してから7年後の平成9年『農水省表示ガイドライン』に基づく特別栽培農産物の認証を受けるため、認定業務を北海道有機農業研究協議会に依頼しました。

その翌年の平成10年には、北海道から特別栽培農産物試行モデル産地として選ばれました。

また、平成11年には、有機農産物の認証（試行）で、6名の認証を受けることができました。

さらに、平成13年のJAS法（農林物資の規格化等に関する法律）改正に伴い、有機JAS農産物の認証を受けることができました。

現在、会員は12戸で、約100ヘクタールの畑で特別栽培や有機栽培による農作物が生産されており、その8割が道外へと出荷されています。

結成30周年記念事業として

学校給食用食材を寄贈

7月30日、大地の会結成30周年記念事業として、学校給食用食材が寄贈されることとなり、会長の高橋徹さんから町に対し目録が贈呈されました。

このたび寄贈された食材は、馬鈴薯350kg、人参200kg、玉ねぎ250kgで、8月19日以降に随時、学校給食センターに届けられ、小中学校及び高校の給食に使用されます。

大地の会が生産してきたこれらの野菜は、これまで学校給食用食材として活用されてきました。

早坂町長は「給食は子どもたちにとって大切で、子どもたちが成長し剣淵町を離れても、故郷の味を覚えていてほしい。」と感謝の言葉を述べていました。



大地の会から食材目録の贈呈

今後も活躍し続ける大地の会

会長 高橋徹さんの思い



大地の会 5代目
会長 高橋徹さん

平成2年に「食は生命なり」を礎に、「農は食の命」「農は生きる力」「次代を農に託そう」を信念に、剣淵・生命を育てる大地の会が設立されました。

健全な土作りを目指しながら、化

～大地の会が出荷している作物～

馬鈴薯・かぼちゃ・にんじん・
玉ねぎ・穀類・スイートコーンなど



大地の会に出荷される馬鈴薯畑

学肥料と農薬に依存しない農法を実践し、安全・安心でおいしい「生命のもと」を、自信を持って消費者の皆さんに届けるために日々作業しています。

30周年を迎えるにあたり、設立した諸先輩方の意思を引き継ぎながら地産地消を大切に、作物本来の味を町民の方々にも食べてもらいたいと思います。

そして会員家族、消費者、取引先が「三方良し」の精神で皆が笑顔でいられるように進めていきたいです。また、同じ意思を持ち喜びを分かち合う仲間が増えるよう会員を募集しながらこれからも頑張っていきたいと思えます。